

令和4年度 第3号 令和4年6月10日

鶴川 星

阿久根市立鶴川内中学校

校訓

スクールコンセプト

ともに夢と希望を育む鶴川内中

協 自 自
調 律 主

一 校 一 風

育てよう花と心と大きな夢を

校長室の窓から

若けうっの難儀は、買（こ）てでんせえ

わけうっのなんぎは、こてでんせえ 【鹿児島県内に伝わることわざより】

校長 井久保 康彦

鹿児島弁を活字にすると、とたんに読みにくくなるのですが、これは、県下一円に伝わることわざで若い時代の困難な仕事、いわゆる難儀は自ら進んでやりなさいという意味です。多くの方が、一度は耳にされたことがあるのではないかと思います。

人の一生は、順風満帆で波風の立たない日ばかりが続くとは限りません。苦しいときや困難にぶつかるときが必ずあります。そんな時、人はつつい楽な方や苦勞しない方を選んでしまいがちですが、若いときに経験した難儀が自分自身を励まし、勇気づけてくれるものです。このことわざは、人生の目標を達成するためには困難から逃げ出さずに、困難に真正面から立ち向かうことの大切さや、やり遂げた充実感がその後の人生の大きな糧となることを教えてくれています。

世界を見回すと、洋の古今を問わず同じような教えがありますが、アメリカではしっかりと目標に向かって努力することを「チャレンジ」といってとても大切にしています。その逆に何も目標を持たず、無気力に過ごす人のことを「チキン」と呼んで軽蔑する風潮があるそうです。このように、困難に思えることでも果敢に挑戦し、乗り越えていくことの大切さは人類の普遍の価値観なのかもしれません。

また、「少年老い易く学成り難し」（しょうねん おいやすく がくなりがたし）という古代中国のことわざにもあるように、あっという間に時は過ぎていきます。生徒の皆さんには、短い中学校生活の中で、自分の課題や目の前の困難にしっかりと向き合ってほしいと思います。

さて、早いもので、もう6月になり1学期も半分を過ぎました。期末テストも間近に迫っていますが、まさに困難が間近に迫った状況といえるのではないのでしょうか。ここをどのように乗り切るのか、どうがんばるのか、生徒一人一人にとって試練の日々となります。苦しい日々が続きますが、こんな時こそ、ゲームやSNS、テレビといった楽な方へ流れることなく、自分ができる精一杯の努力を重ねてテストに向き合ってください。困難を乗り越える努力を重ねることで自分を鍛え、やり遂げた充実感を味わってほしいです。そして、努力の積み重ねや中学時代に頑張ったことを「誇り」と「自信」に変えて自分の進路を切り開いてほしいと願っています。

主な行事予定

月	日	曜	6月～7月前半の主な行事
6	10	金	学校保健委員会・健康教室
	14	火	地区総体（～15）
	16	木	テスト前部活動停止（～22） ノーメディアチャレンジ週間（～22）
	21	火	期末テスト（～23）
	24	金	スマホ・ケータイ安全教室 学級 PTA
7	1	金	安全点検日 PTA 親子学習会 市小・中学校弁論大会
	5	火	職場体験学習 2年（～6日）3年（～7日）
	8	金	SC 来校 ストレスマネジメント講話
	12	火	租税教室
	13	水	高校出前教室 学校運営委員会
	14	木	かごしまジュニア検定
	15	金	おはら節・ハンヤ踊り学習
	20	水	終業式 美化作業
21	木	三者面談（～29）	

□ 1学期授業参観は、スマホ・ケータイ安全教室の講話を行います。その他、下記の授業参観できますので、どうぞよろしくお願ひします。（家庭教育学級を兼ねる★）

7月 1日（金）18:30 ～PTA 親子学習会★
7月 8日（金）10:40～ストレスマネジメント講話
7月 13日（水）14:05～高校出前教室
（鶴翔、出水商業高校）

集団宿泊学習

5月25日(水)～26日(木) 1・2年生
が出水市青年の家で行いました。



1日めは、マウンテンバイクに乗りや勾玉づくり、野外炊飯でカレーライスを作り、夜は天文学習をしました。

2日めは、朝のつどいのあと、雨のため、ニュースポーツをしました。

学校から離れた自然豊かな中で、6つの出会い(不自由、常識、自然、新しい体験、人、自分)をし、集団における個の在り方を学んだ貴重な1泊2日でした。

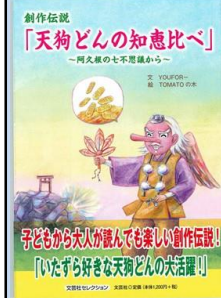
郷土・環境学習

5月25日(水) 3年生が阿久根の企業訪問を兼ねて、郷土学習や環境学習をしました。



環境センターエネクリン北薩、鹿児島金属阿久根工場、寺島宗則記念館に行きました。郷土の歴史や偉人、企業について学び、社会とのつながりについて意識を高めました。

キャリア教育における職業観・勤労観について自己課題に迫るとともに、来月行われる職場体験学習とつながる有意義な学習となりました。



本校第19代校長である倉園裕豊氏(文)と田淵知寿子氏(絵)が自費出版された創作伝説である「阿久根の七不思議」の絵本を寄贈くださいました。

いたずらばかりして迷惑ばかりかけている天狗どんが村人から感謝され、心を入れ替えて自分のメロンづくりの農業に精を出すことで受け入れられる物語です。阿久根市とその伝説を広く知っていただきたいという思いが込められています。

本校図書室にあります。ぜひ、お読みください。

★「他人を幸福にするのは香水をふりかけるようなものだ。そのとき、自分にも数滴はかかる。」

私が財布から紙幣を出していると、表のガラスドアが開いて、五、六歳くらいの子が入ってきた。顔を赤くし、必死の面持ちで「あのう、すいません」と言った。

私の相手をしていた女性はい、と言って女の子の方に向き直ると、彼女は「あのう、チーズケーキはひとつ何円でしょうか」と丁寧な口調で尋ねた。店員は女の子の必死の気配がおかしかったのか「四百三十円です。」と笑いながら応えた。

女の子は漫画のついで自分のがまくちを開け、二百円、三百円…、と声を出してお金を勘定していたが、「ああ、ない」と悲しそうな声を出した。そして「どうもありがとうございます」と泣きそうな顔で言うと、がまくちも閉めず一礼してガラスドアの方へ向かって駆け出した。すると彼女にとっては厄日だったか、ドアの前で人と衝突し、がまくちからお金をばら撒いてしまった。子供にぶつかるとはなんとという不注意な人間だろうと思って衝突相手を見ると、私の友人だった。

友人もさすがに悪いと思っただけで、急いで屈み込むと、「ああ、ごめんね」と言いながら、女の子と一緒にお金を拾い集め出した。「二百円、三百円、四百円…、あれえ、ほら、四百八十円あるじゃないか、チーズケーキが買えるよ」と私の友人は、拾ったコインを女の子の小さな手に渡しながら言った。「あれえ、本当だ」と女の子は言った。「駄目だよ、きちんと数えない」と、友人は笑いながら言った。女の子は嬉しそうにコインを握りしめ、私の横に戻ってきた。どうやら女の子はチーズケーキを買うことができるようだった。「いい所があるね、君は」私は言った。すると友人は、びっくりしたような顔で私を見た。そして「何が?」ととぼけた。しばらく黙って歩いていたが、とぼけおおせないと悟ると「あの女の子は、ファミコンゲームでも買ってもらうために、母親をチーズケーキ一つで買収しようとしていたのかもしれないぜ」とせいぜい毒づくのだった。「御手洗潔のダンス」著:島田社司より引用

電車やバス等で、お年寄りや妊婦さんが乗ってくる姿を見るや、席を譲るために、少し離れた場所にさっと移動し、知らないふりをする人がいる。とても清々しく、心が温まる。徳には「陽徳」と「陰徳」がある。陽徳とは、人に分かるようにする善行。陰徳とは、人知れず積む善行。陽徳はその場で感謝やお礼をもらうが、陰徳は誰からも感謝されず、ほめられない。どちらも大事。「他人を幸福にするのは、香水をふりかけるようなものだ。ふりかけるとき、自分にも数滴はかかる。」生活の中で、そんな姿を目にすることがある。そんなとき、人知れず、明日に希望を抱いている。

学校運営協議会

5月19日(木) 17:30から行いました。

氏名	職名等
田代 信郎	本会会長・市消防団副団長
児玉 利明	副会長・同窓会長
宮原 貢	地区区長代表
宮崎 幸男	PTA 会長
青木 緋紗子	前 PTA 会長
井久 保康彦	校長
土屋 雅宏	教頭

「学校運営協議会」は、学校の運営とそのために必要な支援について協議する合議制の機関です。学校と地域が力を合わせて、目標やビジョンを共有し、これからの時代を生き抜く力を育成することを目指すものです。保護者及び地域住民の方々が傍聴することができます。傍聴希望の方は、あらかじめご連絡をお願いします。